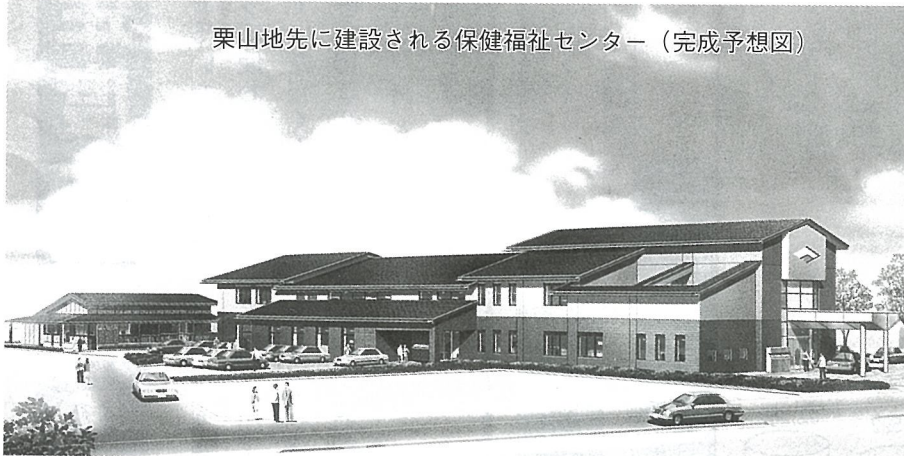


# 防災対策や福祉問

栗山地先に建設される保健福祉センター（完成予想図）



を持ち、医療や福祉、保健についてが一つの窓口で相談でき、住民要望をすぐに具体的なサービスとして提供できる点など大変参考になった。②私もできる限り視察に同行させてもらっており、今までにもいろいろな施設等を拝見させていただいている。このような視察研修が、予算執行の中でどれだけ成果をあげているかを述べることはなかなか難しいが、町の事業計画

の中で、一つの大きな指針を作るうえで大変参考になるものと確信している。③高齢化社会を迎え、あわせて都市化や国際化、情報化の進む中で、各種事業の計画や実施に際しては、地域住民の立場に立ち、そのライフスタイルの変化等を見ながら地域の振興発展に寄与することが最も重要だと認識している。今後も事業推進に当たっては、議員のみなさんの意見はもとより、各種団体、あるいは、町長への手紙などによる住民からの直接の意見も謙虚に承り、町民のみなさんと行政とが一緒になって、二十一世紀へ向け明るいまちづくりができるよう努力していきたいと考えている。

## 福祉問題

**問** ①介護保険制度については、保険料や要介護認定の基準をはじめ、制度の根幹となる事項がほとんど明らかにされないのが実態だが、当町の場合、保険料はどれくらいになるのか。また、保険料を払えない者に対する対応は。②介護を受ける場合、サービス費用の割を利用料として負担しなければならぬようにだが、利用料を払えない者に対する対応は。

**答** ①介護保険は、給付水準によって保険料が決まるというこ

とが、保険医療と大きく異なる場所である。つまり、保険者たる市町村の要介護、要支援サービスの総量が保険料に反映される仕組みになっている。現在、保険料が月額二千五百円という数字が報道されているようだが、これはあくまで想定される全国平均であって、実際には市町村によって若干の差が出てくるものと考えられている。被保険者となる方々がどのような暮らしぶりをしていくのか、また、サービスを受ける方が、どのような保険、医療、福祉サービスを望んでいるのか、保険料を決めるに当たっての重要な要素になってくるとのことであり、今後の調査や回答に対する分析を慎重に進めたいと考えている。災害を受け復旧に当たっている人や障害等による著しい収入低下などに対する保険料の減免規定についても、それらと一緒に定めていくことになる。②介護保険の給付サービスを受けるときは、原則として、受けようとするサービス費用の割を負担してもらうことになっているが、法定内サービス費用の割負担が高額になる場合や、災害時の特別な事情によって一時的に割負担が困難と認められる場合などは、軽減措置が受けられるような仕組みを盛り込むことを考えている。

## 入札制度

また、収入の少ない被保険者に対しても十分な配慮をしていかなければならないとも思っている。

**問** 当町では、町発注の公共事業は、指名競争入札の方法で行なっているようだが、今後、一般競争入札や一般公開入札にする考えはないか。

**答** 現在、町発注の公共工事については、町の財務規則、建設工事等契約事務取扱実施規程に基づいて、原則として指名競争入札により執行している。指名の選考に関しては、建設工事等指名競争入札参加資格審査申請者登録簿に登録された業者の中から、特に大きな工事を除き、町内業者育成の見地から町内業者を中心指名している。国や県、一部の市町村では、大規模工事等について、制限付き一般競争入札を採用しているようであるが、資格基準等の問題などで、山武郡内の町村では、当町同様、指名競争入札によって執行しているのが現状である。一般競争入札に付すには、そのための仕組みなどいろいろな問題点もあるが、それらを踏まえ、今後、より公正、より適切な入札を行なうための方策を、審査会等で十分に協議していきたいと考えている。